

旧規格製品を使用する際の確認事項

旧規格製品使用の合目的かつ医学的事由

- ミキサー食の注入をおこなっている
- 簡易懸濁を行えない
- 定期薬に顆粒剤あるいは漢方といった水にとけにくい薬剤が含まれ、溶解可能な他剤型に変更が難しい
- 頻回に着脱が必要である（排気排液、薬剤、注入回数が多い等）
- 排気排液の際に口径が狭いと、閉塞してうまく処置ができない
- 国際規格を使用する際に必要となる備品の管理が困難である
- 介助者の筋力低下、片麻痺、手首痛等があり、ねじり操作が不可能である

旧規格製品の使用は、以下のリスクがあることを了承しました

- 1) ねじ式ではないため、しっかり奥まで挿入しないと、接続部が外れる恐れがあります
- 2) 新規格製品を使用している病院に転院する場合は、変換コネクタが必要になります
- 3) 手術や麻酔を受ける際等に必要となる神経麻酔コネクタ、尿道カテーテルや胸腔ドレーンといった特殊な管に旧規格のシリンジが誤接続してしまう可能性があります

国際規格、旧規格いずれの経腸栄養関連製品であっても、誤接続や破損等の不都合が生じた場合は、担当する医療機関に報告し、その情報共有に協力します。これらの情報は、安全性と利便性の両立が可能なさらに新しい製品の開発に必要であることについて、説明を受けました。

上記の内容をカルテに記載してください

日時 年 月 日

主治医

患者氏名